

平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年8月12日
東

上場会社名 株式会社プラコー 上場取引所
 コード番号 6347 URL <http://www.placo.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 権田 和睦
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役専務 (氏名) 黒澤 秀男 (TEL) 048-798-0222
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	739	70.6	△32	—	△32	—	△33	—
26年3月期第1四半期	433	△35.2	△38	—	△42	—	△44	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
27年3月期第1四半期	△1.25		—					
26年3月期第1四半期	△1.63		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第1四半期	2,403	302	12.6
26年3月期	2,689	332	12.4

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 302百万円 26年3月期 332百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年3月期	—				
27年3月期(予想)		0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,630	29.8	76	499.5	61	—	53	—	1.99
通期	3,050	△0.9	156	4.5	126	0.2	110	5.8	4.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

27年3月期1Q	27,152,585株	26年3月期	27,152,585株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

27年3月期1Q	50,581株	26年3月期	49,645株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

27年3月期1Q	27,102,282株	26年3月期1Q	27,105,806株
----------	-------------	----------	-------------

発行済株式数に関する注記

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
5. 補足情報	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、政府が実施した経済政策や日銀の金融緩和策による円安・株高傾向に一服感はあるものの、企業業績の回復や設備投資の増加が一部で見られるなど、底堅い内需に支えられて緩やかな回復基調が続いております。しかしながら、世界経済においては、新興国景気の減速や欧州経済の動向など、不安定な世界情勢の影響から、円安による貿易収支好転の実現には至っておりません。また、4月から施行された消費税率引き上げにより、国内景況感に小幅な悪化の兆しが見られるなど、全般的な景気動向は依然として先行きの不透明な状況が続いております。

当社の関係するプラスチック加工業界は、政府の成長戦略のひとつである補助金の活用などを背景として、積極的な設備投資を展開するメーカーが存在する一方で、業界全体としては、長引く円安傾向に起因するプラスチック原料や鋼材、電気代、人件費等の価格上昇分を製品価格へ転嫁することが出来ないなど、設備投資意欲を押し下げる要因が存在しております。

環境関連業界においては、社会的な関心の高まりは感じられるものの、具体的な受注へと結びつくまでに時間がかかっております。しかし、そのような状況の中でも、使用済みプラスチックの再生装置に関しては、円安によりプラスチック原料が上昇していることから増加傾向にあります。

また、海外市場においては、新興国を中心として需要増加は期待できるものの、性能競争、価格競争が厳しさを増している状況であります。

このような状況下、営業面では、インフレーション成形機事業においては、汎用機の受注が順調に推移し、加えて高生産化・自動化・省エネルギー・新原料対応などの、高機能機、多層機の受注を複数台いただきました。ブロー成形機事業においては、好調な自動車業界を反映し、「樹脂タンク用小型ブロー成形機」の量産が具体化してきたほか、自動車部品メーカーを中心として大型機など、前年同四半期を超える受注をいただきました。また、生産面では、海外生産を推進させるとともに、コストの低減や生産性の向上に努めましたが、販売価格競争が厳しかったことに加え、高生産化や、新原料に対応するための費用などが増加したため、利益率は目標までには至りませんでした。

以上の結果、当第1四半期累計期間における売上高は、高生産・省エネルギー・多層などのインフレーション成形機の納入が多くあったことから、当初の予定より増加し7億3千9百万円となり、前年同四半期と比べ3億6百万円増加(前年同四半期比70.6%増)いたしました。利益面につきましては、高生産化や、新原料に対応するための費用などが嵩んだ影響により、今期においては目標の利益率を確保できませんでした。この結果、営業損失3千2百万円(前年同四半期は営業損失3千8百万円)、経常損失3千2百万円(前年同四半期は経常損失4千2百万円)、四半期純損失3千3百万円(前年同四半期は四半期純損失4千4百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

流動資産は、前事業年度末に比べて14.8%減少し、1,709百万円となりました。これは主に、現金及び預金が204百万円、受取手形及び売掛金が117百万円それぞれ減少したことなどによります。

固定資産は、前事業年度末に比べて1.6%増加し、694百万円となりました。これは主に、有形固定資産が新規取得などにより9百万円、投資有価証券が時価評価などにより3百万円それぞれ増加したことなどによります。

この結果、総資産は前事業年度末に比べて10.6%減少し、2,403百万円となりました。

流動負債は、前事業年度末に比べて11.0%減少し、1,405百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が143百万円、未払法人税等が19百万円それぞれ減少したことなどによります。

固定負債は、前事業年度末に比べて10.6%減少し、695百万円となりました。これは主に、長期借入金62百万円、退職給付引当金が12百万円減少したことなどによります。

この結果、負債は前事業年度末に比べて10.8%減少し、2,101百万円となりました。

純資産は、前事業年度末に比べて9.2%減少し、302百万円となりました。これは主に、第1四半期純損失を33百万円計上したことなどによります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期累計期間並びに通期予測については、当第1四半期の実績を踏まえて今後の業績への影響を見定めている最中であり、現時点では平成26年5月13日に公表しました「平成26年3月期決算短信(非連結)」における開示内容から変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(原価差異の繰延処理)

操業度等の変動に起因して発生した原価差異につきましては、原価計算期間末までにはほぼ解消が見込まれるため、当該原価差異を流動資産(その他)として繰延べております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	835,495	630,674
受取手形及び売掛金	743,579	626,431
たな卸資産	402,468	397,810
その他	25,383	54,822
貸倒引当金	△746	△313
流動資産合計	2,006,181	1,709,425
固定資産		
有形固定資産		
土地	494,199	494,199
その他(純額)	130,208	139,342
有形固定資産合計	624,407	633,541
無形固定資産	14,143	12,848
投資その他の資産		
その他	58,643	61,464
貸倒引当金	△13,656	△13,666
投資その他の資産合計	44,986	47,798
固定資産合計	683,537	694,188
資産合計	2,689,719	2,403,614
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	767,647	624,571
短期借入金	300,728	300,713
前受金	391,006	380,184
未払法人税等	22,664	2,825
引当金	36,718	30,839
その他	60,132	66,362
流動負債合計	1,578,898	1,405,497
固定負債		
長期借入金	647,156	584,489
引当金	39,103	20,993
その他	91,791	90,382
固定負債合計	778,051	695,865
負債合計	2,356,949	2,101,362

(単位:千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成26年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,332,945	1,332,945
資本剰余金	131,387	131,387
利益剰余金	△1,250,918	△1,284,706
自己株式	△5,348	△5,397
株主資本合計	208,065	174,228
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△8,026	△4,708
土地再評価差額金	132,730	132,730
評価・換算差額等合計	124,704	128,022
純資産合計	332,769	302,251
負債純資産合計	2,689,719	2,403,614

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	433,479	739,658
売上原価	339,470	614,230
売上総利益	94,009	125,427
販売費及び一般管理費	132,019	157,708
営業損失(△)	△38,009	△32,280
営業外収益		
受取利息	481	501
物品売却益	189	284
受取保険料	-	3,762
その他	559	548
営業外収益合計	1,230	5,096
営業外費用		
支払利息	5,026	4,911
その他	935	263
営業外費用合計	5,962	5,175
経常損失(△)	△42,741	△32,359
特別損失		
固定資産除却損	18	0
特別損失合計	18	0
税引前四半期純損失(△)	△42,759	△32,359
法人税、住民税及び事業税	1,428	1,428
法人税等合計	1,428	1,428
四半期純損失(△)	△44,187	△33,787

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第1四半期累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

該当事項はありません。

当第1四半期累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社はプラスチック成形機事業のみの単一セグメントであり重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

5. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

1 生産実績

当第1四半期累計期間における生産実績を事業部門別に示すと、次のとおりであります。

事業部門別の名称	生産高(千円)	前年同四半期比(%)
インフレーション成形機事業	574,232	160.2
ブロー成形機事業	65,106	△1.7
リサイクル装置事業	9,570	△48.3
合 計	648,908	112.5

(注) 1 金額は、販売価格によっております。

2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2 受注実績

当第1四半期累計期間における受注実績を事業部門別に示すと、次のとおりであります。

事業部門別の名称	受注高(千円)	前年同四半期比(%)	受注残高(千円)	前年同四半期比(%)
インフレーション成形機事業	403,065	△40.8	830,045	4.9
ブロー成形機事業	315,369	11.5	627,603	80.5
リサイクル装置事業	30,990	△16.4	55,270	△57.2
合 計	749,424	△25.2	1,512,918	19.3

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

3 販売実績

当第1四半期累計期間における販売実績を事業部門別に示すと、次のとおりであります。

事業部門別の名称	販売高(千円)	前年同四半期比(%)
インフレーション成形機事業	584,182	193.5
ブロー成形機事業	37,906	△63.3
リサイクル装置事業	9,570	△78.0
メンテナンス事業	107,999	23.1
合 計	739,658	70.6

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。